

<b>課題名</b>	次世代継承に向けた丹後特産物の強化・発展	需要に応える ものづくり	丹後農業改良普及センター
<b>(1)普及指導事項（評価対象）</b> ①施設京野菜の周年栽培・相対出荷による収益拡大 ②えびいもの収益拡大と省力・軽労化による産地拡大 ③主要花き品目である小ギクおよび特色ある伝統花き産地の振興 ④丹後果樹産地の構造改革		<b>(2)普及指導対象</b> ①京みず菜、九条ねぎの栽培生産者90戸 ②えびいも栽培農家32戸（京丹後市、与謝野町、伊根町） ③JA 花き部会員 39 戸（京丹後市、宮津市） ④丹後管内果樹生産者 135 名（果樹の売上 10 万円以上の者）	
<b>(3)活動内容と成果</b> ① 施設京野菜の周年栽培・相対出荷による収益拡大 京みず菜、九条ねぎの生産安定や収益拡大に向けて、基幹技術の徹底や新技術の導入による栽培環境改善、新品目を導入した施設の高度活用と先進地の事例収集、新規の相対出荷者確保のための勧誘対象者の条件整理を実施した。 ② えびいもの収益拡大と省力・軽労化による産地拡大 技術体系の見直しを図り、省力化と品質向上に向けた取り組みを実施した。また、産地全体のレベルアップを目指した品評会の開催や、農作業者の高齢化に対応すべく、作業の省力・軽労化に係る農機メーカーとの連携を図った結果、改善技術の普及による増収や省力・軽労化技術の導入、生産者間の情報共有の活性化、出荷規格外品を活用した加工品の商品化と販売活動が見られた。 ③ 主要花き品目である小ギクおよび特色ある伝統花き産地の振興 小ギク、ヒオウギ、コットンフラワーについて技術課題の解決および新規参入に向けた産地の体制整備について取り組んだ結果、小ギクの目標出荷本数の達成、ヒオウギの育苗方法の簡略化も含めた生産体制の確立や新規栽培者1名の確保、コットンフラワーの栽培技術普及による産地体制の確立につながった。 ④ 丹後果樹産地の構造改革 ナシの輸出拡大支援によって若い担い手へ所得安定を図るとともに、果樹の産地維持に係る廃園未然防止及び新規担い手確保に向けた体制整備に取り組んだ結果、ナシの輸出量の増加、ブドウの収穫や果樹園の除草等の省力化技術の開発や導入、次期果樹産地構造改革計画の策定等につながった。			
<b>(4)コメント</b>		<b>(5)普及指導計画への反映状況、今後の活動等</b>	
<要約> ① 施設京野菜の周年栽培・相対出荷による収益拡大 生産安定や収益拡大に向け、地域の特性を活かした栽培、品種の再選定、基幹技術の徹底、新品目導入した施設高度活用等の支援に対し評価。様々な課題に対し、迅速な対応ができている。 実証中である近年の猛暑への遮熱対策と品種転換の取組の成果に期待。「塩類集積の発生」の問題が顕在化する前に、適		① 施設京野菜の周年栽培・相対出荷による収益拡大 令和6年度の普及計画に、施設野菜は取り上げていませんが、みず菜や九条ねぎ、賀茂なす、トマト、キュウリ等につきましては、丹後地域特産物育成協議会の重点推進品目の生産振興活動として、栽培技術及び品質の向上を図るため関係機関と一体となって支援を強化していきます。	

切な啓発をお願いする。人件費等の経費が上がり、京野菜のこだわり価格が低迷している中、新たな販売展開の推進ができていない。今後は、新規品目の販路確保もお願いしたい。

② えびいもの収益拡大と省力・軽労化による産地拡大

省力化技術の導入支援や、メーカー等の多くの関係機関との連携等により、えびいもの認知度向上や新規栽培者の増加、栽培技術改善による収量増加、加工品の商品化と販売活動等の成果が見られたことに対し評価。

機械化により規模拡大は見込めるが手間もかかる。大量生産すれば儲かるという考えはほどほどでよい。今後、府内先進地との価格や利益率格差があるなら、その解決のために支援活動を展開して欲しい。

③ 主要花き品目である小ギクおよび特色ある伝統花き産地の振興

品質向上への技術支援と産地の成長促進の取組として評価。関係機関とも連携できている。小ギクは、需要期に合わせた技術徹底や電照栽培者の増加による出荷量増加、パテント品種の導入等により、年々生産量が増えて、選ばれる産地へ成長してきていることは喜ばしい。ヒオウギは、新規栽培者を確保し目標達成し、小学生を対象とした花文化の継承という大切な活動を行っている。

今後も、知名度やニーズを拡大し、生産者が増えて、産地が継続できるよう支援をお願いする。

② えびいもの収益拡大と省力・軽労化による産地拡大

令和6年度の普及計画に、えびいものは取り上げていませんが、丹後地域特産物育成協議会の活動として、重点推進品目のえびいもの栽培技術高位平準化と併せて品質向上による単価アップを図るため、生産者及び生産部会への支援を関係機関と一体となって強化していきます。

③ 主要花き品目である小ギクおよび特色ある伝統花き産地の振興

令和6年度からは、主要花きの小ギクと伝統花きのヒオウギに特化して重点計画を設定しました。これまでの活動の積み上げを元に、生産拡大と品質向上による産地の一層の強化に努めていきます。

また、新規担い手の確保・育成や、ヒオウギの知名度アップのための花育活動等の取り組みを強化していきます。

④ 丹後果樹産地の構造改革

ナシの価格低迷や持続的な担い手が不足する課題に対して、輸出拡大や需要に合わせた栽培技術、スマート農業技術の導入、経営戦略等の支援について、産学官連携の包括的な取り組みとして適切である。他業種から労働資源を開拓するという発想は柔軟ですばらしい。担い手育成のためのフルーツトレーニングファームの取り組みによって、若手への放棄園の集積に実績をあげている。ナシの輸出を足掛かりとし、ブドウ、メロン等フルーツ王国丹後の復活に期待。

輸出相手国の状況変化により年毎に生産管理をフレキシブルに変更していくことが継続的に可能であるのか疑問に思った。もう少し安定した輸出先を探索していく必要があるのではないか。

(課題全体)

農業者の意識改革や次世代の生産者の増加、地域を守るための普及指導がされている。既存の特産品を生かしながら、生産者の生産意欲を促す経営支援活動が継続されることを期待する。

④ 丹後果樹産地の構造改革

令和6年度からは、果樹（ナシ）に特化して重点計画を設定しました。産地強化のためには、ジョイント栽培の普及や夏季高温に対応する技術対策を行い収量及び品質の向上を図る必要があります。また、担い手の確保・育成の取り組みを一層強化していきます。

なお、安定した輸出先につきましても、社会情勢等を踏まえつつ、関係機関と協議しつつ柔軟に検討をしていきます。

(課題全体)

令和6年度からの普及指導計画では、水稲、黒大豆エダマメ及び黒大豆、果樹、花き、国営開発農の加工・業務用野菜、茶の7部門で計画を策定し、それぞれの部門・品目で、生産技術の向上対策による収量・品質の安定や、新規担い手の確保・育成による一層の産地力強化に向けて支援を強化していきます。